

市長の所信表明について

高子 秀明



〔質問〕公立刈田総合病院について、市長は所信

表明で、将来にわたり安定した地域医療の確保が見通せるようになったと述べた。具体例として、周産期医療の確立や、外科医、麻酔科医の常勤も近く実現するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕公立刈田総合病院の運営状況は、年2回、広報しろいしで市民にお知らせしている。令和4年度病床稼働率は平均56・5%、令和6年度には84・7%に改善し、医業収益も増加、指定管理者制度の下、県内の医療機関や介護施設との連携を強化し、協力施設の協定

を締結した。令和7年4月、常勤の麻酔科医が採用予定で、今後も周産期医療体制の確立も含め、地域医療充実に尽力する。

〔質問〕（仮称）白石中央S・I・C周辺整備事業について、本市発展の起爆剤として市民から期待の声が寄せられているのであれば、本市財政や市民経済にどのような経済波及効果をもたらすか、目標値として具体的な数字を示すべき時期だと考える。目標値を伺う。

〔答弁〕〔市長〕第469回定例会で、道の駅しろいし整備事業の契約が議決され、金額は18年間で約59億6090万円（施設整備費用41億円、運営費用18億円）、事業者は、開業後年間130万人から165万人の利用者を予測、売上は年間約7億5千万円を見込んでいる。第一次経済波及効果として、建設工事や地元企業への発注、消費増加により、地域経済に大きく寄与すると期待される。市は事業者と連携し、需要予測達成を目指していく。

〔質問〕市民の多様な意見要望を取り入れることが市政運営の根幹の一つであり、市民あつての市政運営であると考ええる。市長は選挙戦を通じて市民の声を直接聞き、新たな課題が見いだせたと拝察する。痛切な課題があれば伺う。

〔答弁〕〔市長〕高齢者からの公立刈田総合病院への称賛や、教育施策や子育て支援施策へ感謝と期待の声、S・I・C周辺整備事業の期待も高まり、市政改革の成果が市民に実感され始めたと感じる。今後市民との対話を増やし、政策を正しく理解してもらう機会を増やしていく考えている。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

太陽光発電施設の建設について

大内 卓也



〔質問〕増え続ける太陽光発電施設に関しての、本市の考えを伺う。

〔答弁〕〔市長〕「白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」、いわゆる調和条例に基づき、地域住民の理解を得ながら、自然環境および生活環境に配慮した事業が実施されるよう対応。事業者の協議に庁内関係部署の連携を図り、慎重に審査を行なっている。

〔質問〕抑制する区域の指定方法を伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕条例で抑制すべき5つの区域を設定、施行規則で16の区域を「抑制区域」として指定しており、事業区域の全部または一部が抑制区域に位置しているときは、原則として同意しない。

〔質問〕指定する前に各自治会との意見交換は設けているか伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕事業者と住民等の間で協議をすることになっている。事業者は住民等に対して理解を得られるよう努めなければならない。事業を実施する場合には、市長の同意が必要。事業者の対応によっては市長が同意しないこともあり得る。同意しないまま事業に着手した場合、事業者に勧告等を行う。

〔質問〕現在までトラブルの発生はなかったか伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕状況確認の上、事業者に対応してもらった事例があった。

〔質問〕太陽光発電施設を設置することで、本市・市民への恩恵はあるか伺う。

〔答弁〕〔市長〕事業者の責務の一つとして「地域振興に寄与するよう努めなければならない」と定めている。事業者には自然環境や景観、生活環境に寄与する何らかの貢献をしていただきたい。説明会では、地域の皆さまが求められるものを是非ご提案いただきたい。

◎（仮称）道の駅しろいしおよび防災公園について

〔質問〕訴状の内容を確認した上での当局の見解を伺う。

〔答弁〕〔副市長〕本市の正当性を主張立証していきたい。

〔質問〕市内の業者への下請けについて。

〔答弁〕〔建設部長〕地元企業の協力は欠かせない。株式会社しろいしグロウパークと連携しながら取り組んでいきたい。